

中学生の部



水はどうして大切な

石巻市立山下中学校 3年 中村 美羽

私たち日本人は、水に困ることがほとんどありません。しかし、実は地球上にある水のうち、人類が使える水はわずか0.01%だということを皆さんは知っていましたか。たとえば、地球上のすべての水をお風呂の桶一杯分として計算してみると、皆さんが飲み水として使えるのはわずか一滴程度なのです。

私達にとってはじゅうぶんな量がある水ですが、世界的には、水不足に悩む国がたくさんあるので。くわしく調べてみると、世界保健機関では、世界では約12億人が安全な飲料水を確保できない状況にあり、汚れた水が原因と考えられる病気で、8秒に一人もの子どもが亡くなっているとありました。日本では考えられないほどの水不足が、世界でおこっているのです。

では、水不足になってしまった原因は何でしょう？それは意外なことに人口の増加なのだそうです。特に発展途上国で人口が増加しているそうで、人口の増加とともに生活用水や農業用水、工業用水などの使用量が増え、その結果として水不足がおきているのです。

発展途上国だけに限らず、水不足は地球全体にも影響があります。たとえば地球温暖化によるものです。気温が上昇することによって、降水量に大きな変化が起きます。ひどいところでは干ばつが発生している地域もあり水温の上昇によりプランクトンが大量に発生して、水質が悪くなってしまった場所や、海面が上昇したために淡水が減ってしまっている地域などもあります。このことから水不足は、遠い場所ではかおこらないとは言えないと感じました。

では、現在水不足になっている国ではどうしているのでしょうか？西アフリカにあるトーゴ村では茶色く濁った水を日常的に飲んでいました。多分皆さんは汚い、よごれた水を飲んだことはないでしょう。もちろん私はありません。ですが、その村人達はどんなに汚くてもその水を飲むしかありません。人間は、水がないと数日で死んでしまうからです。だから、トーゴ村に居る子どもたちや大人は水を探し、どんな水でも飲みます。その見つけた水は、人の命、そして人の未来を奪ってしまう危険な水です。水を飲まなければ死んでしまい、やっと見つけて水を飲んで体もこわしてしまう…そんな状況にあるのは、トーゴ村だけではありません。この世界には、安全な水を必要としている人がたくさんいるのです。

今、私は水がなくなってこまることはありません。しかし、1度だけ水がない状況を体験しました。それは、東日本大震災という大きな地震災害の時です。津波は、たくさんの人の命や未来、そして夢までも奪って行ってしまいました。私は水が人の命をたくさん奪っていくのを目の当たりにしました。まだ小さかった私は、パニック状態でした。そして大好きだった先生までの命を奪っていった水を見て私は心の中でこう思いました。「水なんてなくなればいい。」

小さい頃の私は本当に無知だったと思います。ですが、まだ小さかった私は水に関して知識がありませんでした。

数週間後、やっと家に帰ることができて、手を洗おうとした私は母に「水出して」と言いました。すると母は私にこう言ってきました。「水道が止まっているから、水は出ないよ」私は驚きました。そして水が出ないことも苦しい生活となりました。お風呂もトイレもろくに使えることができませんでした。私の体はどんどん不潔になっていきました。

3週間後ようやく水が復旧したとき、私はとても喜びました。復旧後にはじめて水を出した時、茶色くてさびた水がでてきました。でも、すぐに透明できれいな水にかわり、たっぷり味わうことができました。久々に飲んだ水は、とって美味しくかったのを今でも覚えています。震災当時は、「水なんてなくなればいい」と思ったこともありました。でも今になったからこそ思えるのが水の大切さです。世界にはきれいな水を飲んだことがない人が多くいます。私たちが普段何気なく使っている水は、日本にとっても、世界にとっても大切なのです。

皆さんも一緒に、水の大切さを考え、これからもきれいな水がある幸せを忘れずにすごしていきませんか。